

1. 欧州往航 (東アジア・東南アジア→欧州)¹

(1) 輸送量

2016年2月のコンテナ貨物輸送量は、前年比11.9%減の102.9万TEUで2か月連続のマイナスに。累計は前年比6.4%減の240.7万TEUとなった。(表1及び別紙(図-1)参照)。

表1 往航輸送量推移

単位:千TEU

	往航							
	2015年				2016年			
	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	1,404	▲ 3.4	1,404	▲ 3.4	1,379	▲ 1.8	1,378	▲ 1.8
2月	1,168	33.3	2,572	10.4	1,029	▲ 11.9	2,407	▲ 6.4
3月	986	▲ 22.1	3,558	▲ 1.0				
4月	1,178	▲ 7.9	4,736	▲ 2.8				
5月	1,328	▲ 2.7	6,064	▲ 2.8				
6月	1,278	▲ 7.1	7,342	▲ 3.6				
7月	1,308	▲ 6.9	8,650	▲ 4.1				
8月	1,332	▲ 6.2	9,982	▲ 4.4				
9月	1,184	▲ 5.8	11,167	▲ 4.5				
10月	1,169	▲ 1.8	12,335	▲ 4.3				
11月	1,096	▲ 3.9	13,431	▲ 4.2				
12月	1,392	2.5	14,823	▲ 3.7				
計	14,823	▲ 3.7						

(2) 方面別輸送量

全方面マイナスとなった。

表2 方面別輸送量

単位:千TEU

	西欧・北欧		地中海東部 黒海		地中海西部 北アフリカ	
	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)		
1月	913	▲ 3.3	222	▲ 1.5	243	3.6
2月	664	▲ 12.9	188	▲ 7.2	177	▲ 13.1
3月						
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
2013年計	9,361		2,556		2,430	
2014年計	10,119	▲ 7.5	2,648	3.6	2,618	7.7
2015年計	9,768	0.0	2,559	0.0	2,496	▲ 0.0
14-15年純増減 (TEU)	▲ 351		▲ 89		▲ 122	

表3 EUおよびユーロ圏向け輸送量

単位:千TEU

EU ※	前年比 (%)	ユーロ圏 ※	前年比 (%)
1,100	▲ 1.7	775	▲ 1.8
804	▲ 12.1	570	▲ 12.1
11,110		8,106	
11,834	6.5	8,408	3.7
11,644	▲ 1.6	8,171	▲ 2.8
▲ 190		▲ 237	

※EU28か国およびユーロ圏19か国のうち、ルクセンブルクを除いた国について集計している

¹ この資料で用いる輸送量などの数値は Container Trades Statistics 社が発表したデータ (速報値) を使用している。

2. 欧州復航（欧州→東アジア・東南アジア）

(1) 輸送量

2016年2月の輸送量は、前年比4.4%減の53.7万TEUで6か月連続のマイナスに。累計は前年比3.3%減の103.1万TEUとなった。（表7及び別紙(図-2)参照）。

表3 復航輸送量

単位:千TEU

復航								
	2015年				2016年			
	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	504	▲ 7.7	504	▲ 7.7	494	▲ 2.0	494	▲ 2.0
2月	561	2.4	1,065	▲ 2.7	537	▲ 4.4	1,031	▲ 3.3
3月	617	2.7	1,683	▲ 0.8				
4月	580	1.6	2,263	▲ 0.2				
5月	625	7.7	2,888	1.4				
6月	628	14.1	3,516	3.5				
7月	629	8.1	4,145	4.2				
8月	558	0.1	4,703	3.7				
9月	528	▲ 3.9	5,232	2.9				
10月	559	▲ 2.6	5,790	2.3				
11月	535	▲ 9.0	6,325	1.2				
12月	596	▲ 1.6	6,921	1.0				
計	6,921	1.0						

(2) 方面別輸送量

全方面マイナスとなった。

表8 方面別輸送量

単位:千TEU

	西欧・北欧	前年比 (%)	地中海東部 黒海	前年比 (%)	地中海西部 北アフリカ	前年比 (%)
	1月	346	▲ 3.4	70	0.4	78
2月	383	▲ 2.8	66	▲ 10.6	88	▲ 5.8
3月						
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
2013年計	4,730		1,093		1,039	
2014年計	4,768	0.8	1,032	▲ 5.6	1,054	1.5
2015年計	4,808	0.8	988	▲ 4.2	1,125	6.7
14-15年純増減 (TEU)	40		▲ 44		71	

表6 EU/ユーロ圏積輸送量

単位:千TEU

EU ※	前年比 (%)	ユーロ圏※	前年比 (%)
421	▲ 1.4	331	▲ 0.8
467	▲ 4.3	366	▲ 7.2
0		0	
5,750		4,496	
5,784	0.6	4,565	1.5
5,948	2.8	4,716	3.3
164		151	

※EU28か国およびユーロ圏19か国のうち、ルクセンブルクを除いた国について集計している

3. 欧州航路運賃

(1) 往航：

上海航運交易所発表の2月の上海-欧州間のスポット運賃は、US \$ 372/TEU となった。

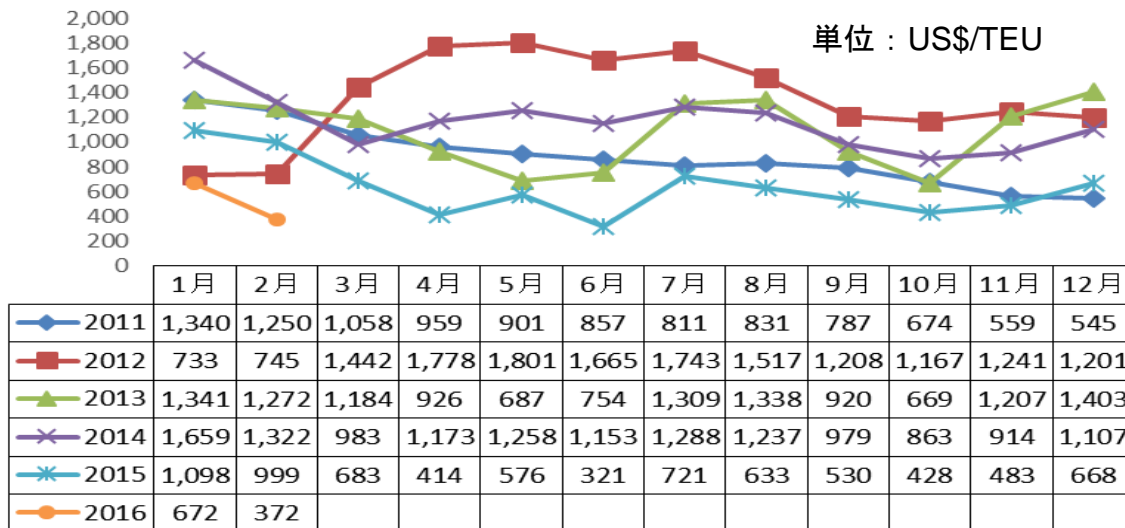


図 2-1：欧州往航（上海→欧州）の月別運賃推移

出所：上海航運交易所

※地中海向けは含まれない

Drewry 発表の2016年2月の欧州往航（塩田→フェリックストウ間）の運賃は、Drewry が記録を開始した2011年以来最低レベルで推移（図 2-2 参照）。

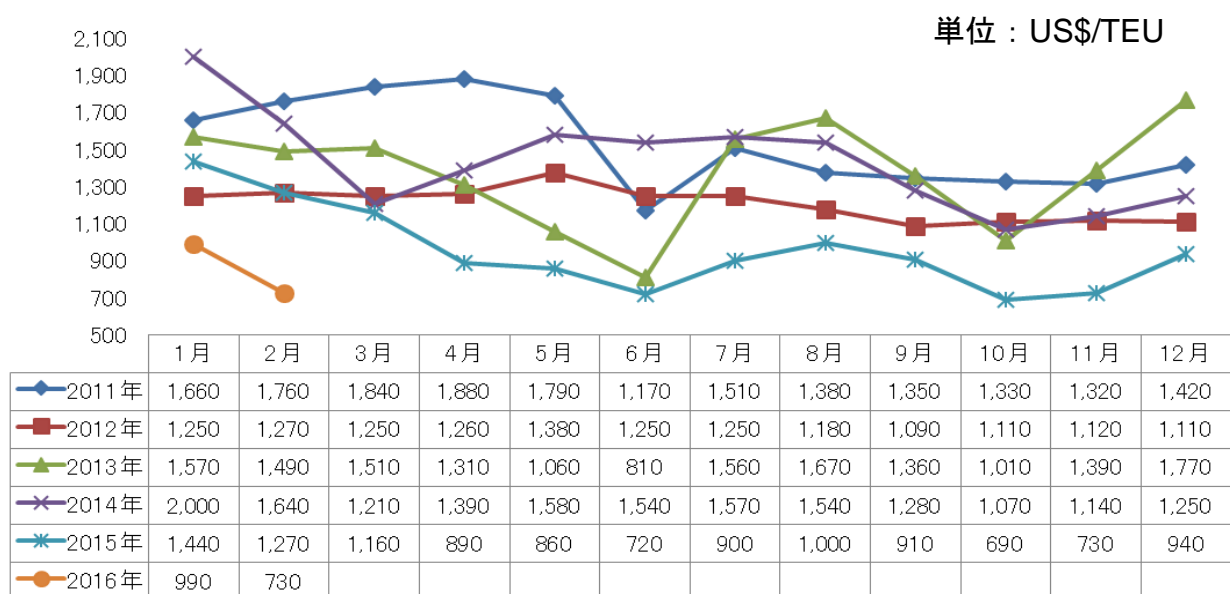


図 2-2：欧州往航（塩田→フェリックストウ）の月別運賃推移

出所 : Drewry “Container Freight Rate Insight”

(2) 復航

Drewry 発表の欧州復航（フェリックストウ→塩田間）運賃は、2011 年以降では最低レベルで推移。（図 2-3 参照）。

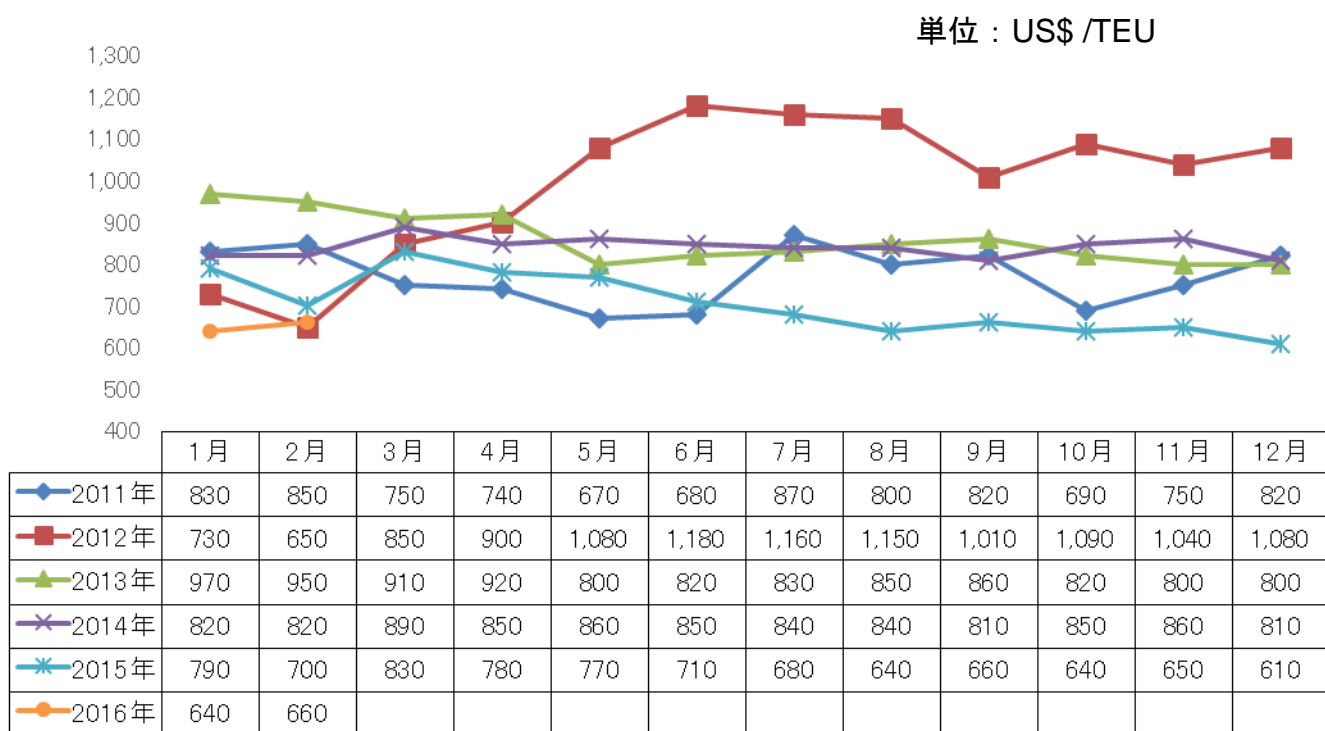


図 2-3：欧州復航（フェリックストウ→塩田）の月別運賃推移
出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

参考表：日本・欧州間のコンテナ貨物輸送量(2014-16年) 単位：TEU

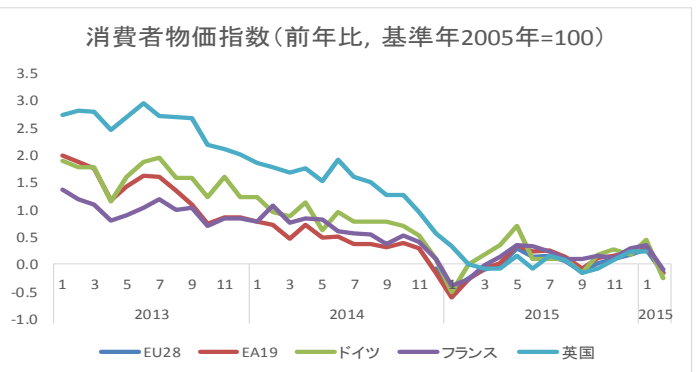
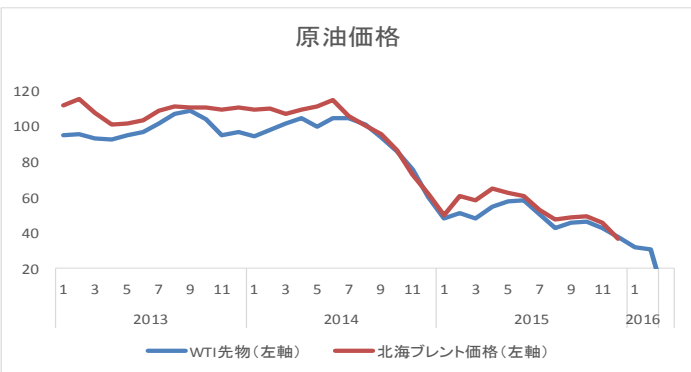
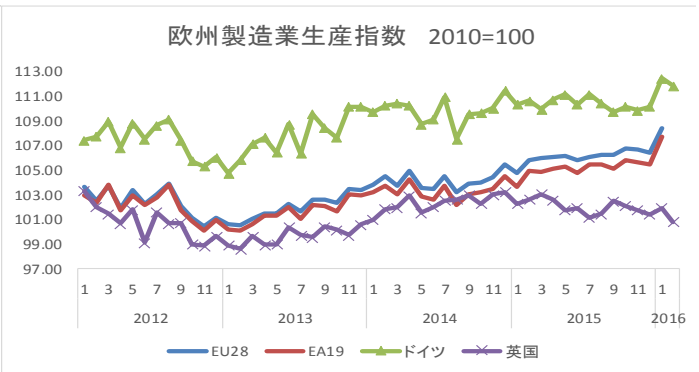
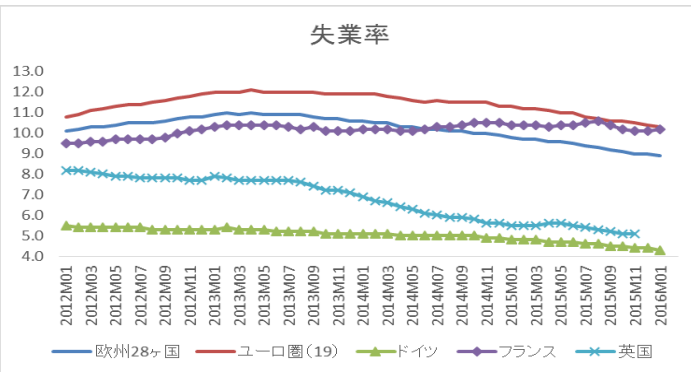
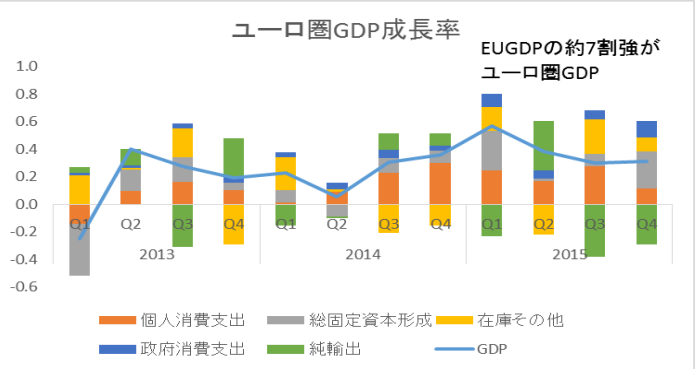
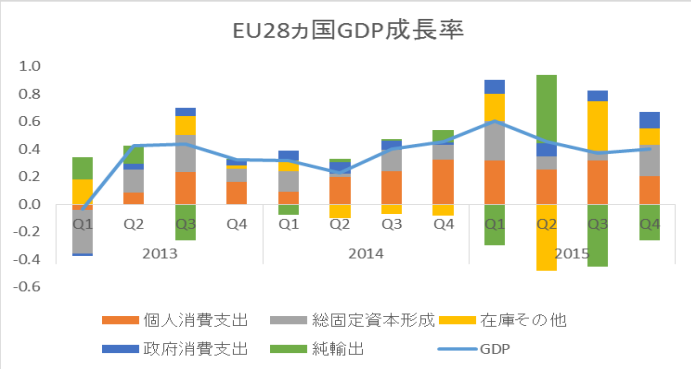
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2014	往航	49,218	47,194	54,354	48,091	42,324	44,851	46,266	41,718	42,579	43,454	37,703	45,875	543,627
	復航	66,595	69,039	74,991	60,002	58,374	55,631	56,734	53,701	54,140	54,618	49,588	56,842	710,255
2015	往航	39,880	40,869	43,601	41,644	39,869	42,461	42,396	40,990	39,812	41,259	36,276	46,350	495,407
	復航	49,578	51,563	59,195	56,787	56,607	57,519	60,080	52,556	52,805	56,197	49,380	59,813	662,080
2016	往航	37,324	39,674											76,998
	復航	46,851	51,272											98,123
前年比														
2016	往航	▲ 6.4	▲ 2.9											
	復航	▲ 5.5	▲ 0.6											

(参考) 荷動きに関連する中国および欧州主要経済指標

2016年4月作成 欧州経済: 緩やかな成長

- ◆EU28カ国およびユーロ圏18か国のGDPは緩やかな成長を維持。
- ◆失業率は欧州全体は低下傾向にあり。
- ◆2015年のドイツおよび英国の製造業生産指数は減少傾向を示すもEU全体は成長を維持。
- ◆2015年は輸出入ともに増加傾向。クリミア情勢および中国経済の減速が輸出（金額ベース）の伸びを下押し。
- ◆原油価格低下により、原油輸出国の景気に影響するリスクあり。CPIは低水準。

出所: EUROSTAT

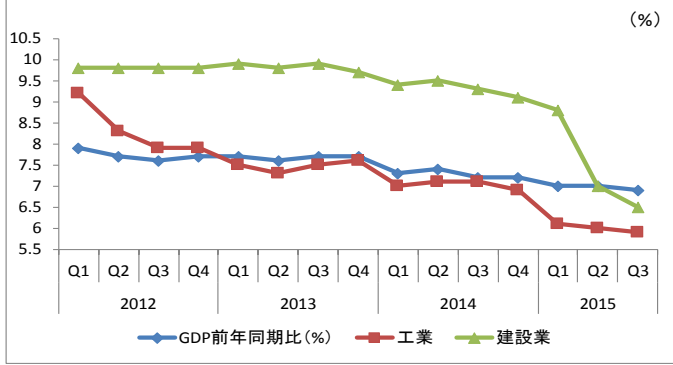


2016年4月作成 中国経済:低調

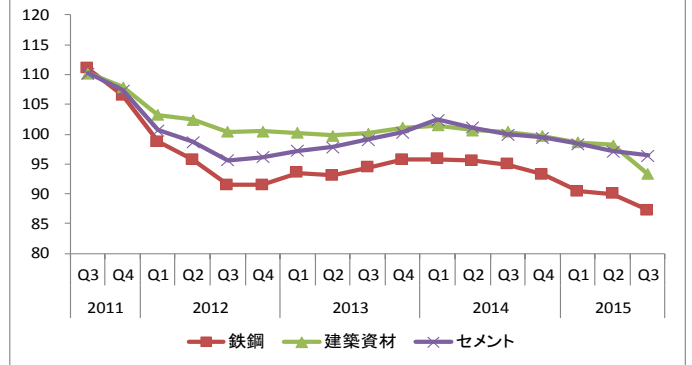
- ◆GDPは全体に下方修正された。第3四半期のGDPは6.9%（前年同期比）。
- 工業生産の落ち込みに加え、建設業が下降した。
- ◆2016年の住宅建設済及び建設着工床面積は、2015年を上回る水準でスタート
- ◆2014年夏以降減少していたPMI（製造業購買担当者景気指数）は、2015年は緩やかな下降基調。非製造業PMIもゆるやかな下降基調が続く。
- ◆2014年以降生産者物価指数（農産物）、固定資産投資価格指数は低下傾向。

データ出所：中国国家统计局

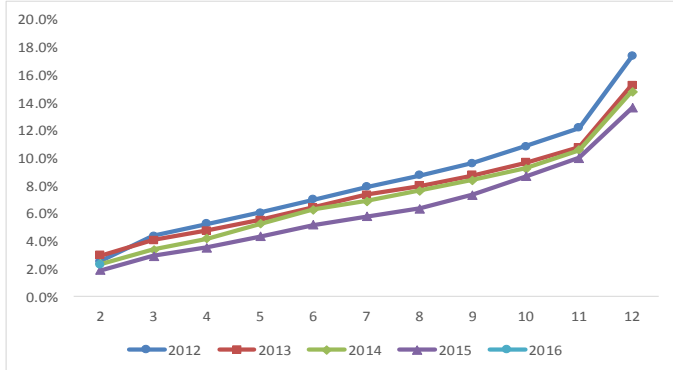
実質経済成長率



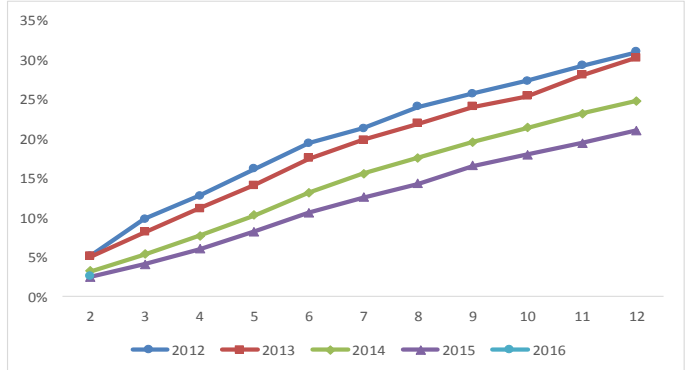
固定資産投資価格指数(PI)



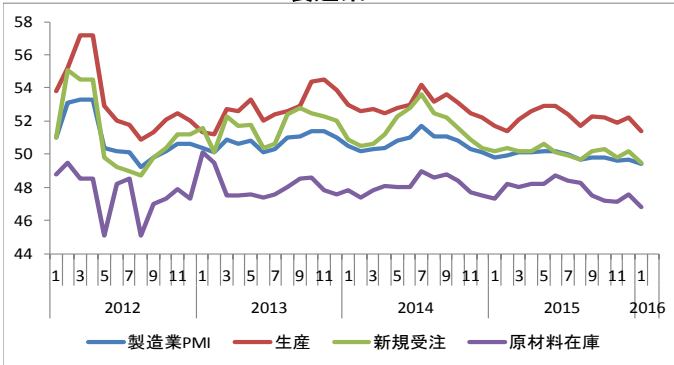
月別:建設済床面積(建設済/建設中)



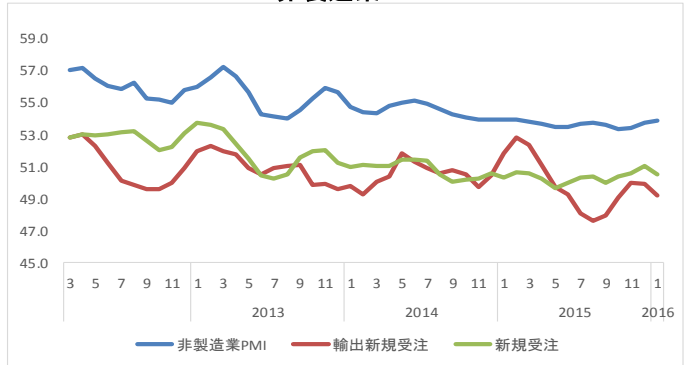
月別:建設着工床面積(当年開始/建設中)



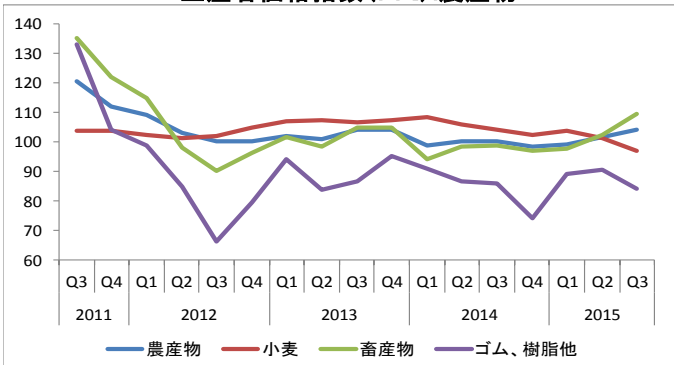
製造業PMI



非製造業PMI



生産者価格指数(PPI):農産物



固定資本財価格指数(PI)

